

里山広葉樹林の活用と再生 に関する現地検討会

かつて薪炭林等として活用されていた里山広葉樹林は、使われなくなったことで、幹の直径が太く、樹高も高い森林に変化しています。

これを資源として活用できれば、森が若返ることでナラ枯れ被害を抑制でき、林業の成長産業化、輸入広葉樹材の代替、地域振興にも貢献できる可能性があります。

この現地検討会では、近畿中国地方における里山広葉樹林の活用と再生に向けて、近畿中国森林管理局や森林総合研究所関西支所におけるプロジェクトの成果とともに、里山広葉樹材の需要動向や管内自治体における取組を共有し、課題や方策について意見交換を行います。

主催 林野庁 近畿中国森林管理局
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所

<第1部>

日時：令和元年10月10日（木）13時30分～17時10分

会場：JA阿新会館3階ホール（岡山県新見市高尾2423）

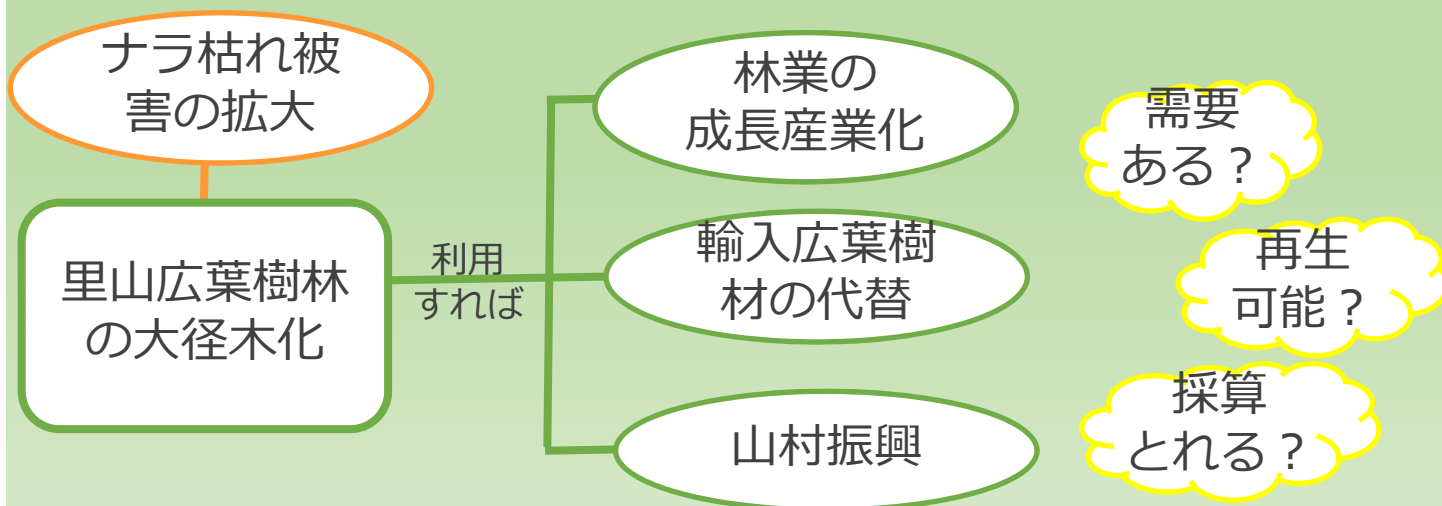
受付：会場前で13時00分から

<第2部>

日時：令和元年10月11日（金）9時45分～11時15分

会場：釜谷国有林597林班（岡山県新見市）

受付：新見郵便局の道路挟んだ向かい側で8時10分～8時20分



プログラム

<第1部>

- 13:30 ~ 13:40 開会挨拶 (近畿中国森林管理局)
- 13:40 ~ 14:20 なぜ今里山広葉樹に着目するのか ー国産広葉樹の需給をめぐる最近の動向からー
(森林総合研究所 青井 秀樹)
- 14:20 ~ 15:00 近畿圏中山間地における広葉樹循環利用に向けて ー森林総合研究所関西支所プロジェクト報告ー
(森林総合研究所関西支所 山下 直子)
- 15:00 ~ 15:10 <休憩>
- 15:10 ~ 15:50 近畿中国森林管理局里山広葉樹林活用・再生プロジェクト報告
(近畿中国森林管理局、岡山大学)
- 15:50 ~ 16:10 美作市における里山林整備の取組
(岡山県美作市 小林 靖明)
- 16:10 ~ 16:30 里山林未利用樹種ネズミサシの高付加価値化への取組
(広島県立総合技術研究所 林業技術センター 山場 淳史)
- 16:30 ~ 17:00 総合討論
- 17:00 ~ 17:10 総合討論のまとめ、閉会挨拶 (森林総合研究所関西支所)

<第2部>

- 9:45 ~ 9:50 開会、行程説明
- 9:50 ~ 10:30 高齢級里山広葉樹林における素材生産事業現場の視察
- 10:30 ~ 11:00 平成29年度高齢級里山広葉樹林における素材生産事業跡地(天然更新状況)の視察
- 11:15 閉会
(新見駅前帰着は、正午頃の予定)

参加者

府県・市町村、府県の森林・林業研究機関
森林経営管理法第36条第2項の規定により公表された民間事業者
林野庁、森林総合研究所など2日間で延べ170人以上参加予定
※参加者の申し込みは締め切りました。

取材申し込み

取材を希望される場合は、前日までに担当者へ御連絡ください。
なお、第2部は、林内に入りますので、安全な服装・装備で御参加ください。

<担当者>

近畿中国森林管理局 技術普及課 櫻井、平井、青木
TEL 050-3160-6729 FAX 06-6881-2055
E-mail kc_fukyu@maff.go.jp



里山材の生産と販売
(H29年度)



詳しくはこちら
を御覧ください